

2023年度愛知県名古屋飛行場消火救難総合訓練の概要

1 目的

愛知県名古屋飛行場における航空機事故の発生に際し、搭乗者を救助するための最大の支援体制を確保するとともに、飛行場内外の関係機関が相互に連携し、必要な連絡、消火活動、人命救助及び医療救護活動、各種規制等の習熟を図る。

2 実施日時

2023年10月5日（木）午後6時40分から午後8時まで

（通報訓練は午後5時45分から実施）

雨天の場合は通報訓練のみ実施

（数時間雨が続いていても雨量が1mmに達しない程度の雨では訓練実施）

3 実施場所

愛知県名古屋飛行場エプロン地区（8（一部）、9、12（一部を除く））

（西春日井郡豊山町大字豊場）

4 主催

愛知県名古屋飛行場緊急計画連絡協議会

5 参加機関

飛行場管理者 愛知県名古屋空港事務所、名古屋空港ビルディング株式会社(指定管理者)

公的機関 国土交通省大阪航空局関西空港事務所、

航空自衛隊小牧基地・小牧管制隊

愛知県、名古屋市、春日井市、小牧市、豊山町、

愛知県警察本部、愛知県西枇杷島警察署

消防機関 西春日井広域事務組合消防本部、春日井市消防本部、

小牧市消防本部、名古屋市消防局、豊山町消防団

医療機関 愛知県医師会、日本赤十字社愛知県支部、小牧市民病院、

春日井市民病院、愛知医科大学病院、江南厚生病院、名古屋掖済会病院、

独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター、

独立行政法人地域医療機能推進機構中京病院、

名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、

西名古屋医師会、小牧市医師会、春日井市医師会、岩倉市医師会、

名古屋市北区医師会、名古屋市守山区医師会、愛知県歯科医師会

その他機関 株式会社フジドリームエアラインズ、三菱重工業株式会社小牧南工場、

飛行場救難救助隊（飛行場内事業者で組織）

6 協力機関

公立春日井小牧看護専門学校、^{あいせいかい}愛生会看護専門学校（名古屋市北区）

※感染症対策のため、傷病者メイクは行わないこととする。

7 想定

A B C D航空、9 9 9 便、エンブラエル1 7 0型機は、滑走路1 6 側から着陸したが、着陸の際横風にあおられて滑走路を逸脱してW- 4 付近（グリッドマップL- 5）で停止、着陸後に右翼エンジンから出火した。機内には煙が充満しており、乗員、乗客に多数の負傷者が出た模様である。

【気象状況】

風向（南東）、風速（4 m / s）視程（2 5 k m）、天候（曇り）、気温（1 6 ℃）

【模擬乗員、乗客】

看護学生 75 名程度、遺体役については人形を使用する。

【通報内容】

航空自衛隊小牧管制隊から愛知県名古屋空港事務所、小牧基地へ通報。その後、愛知県名古屋空港事務所は関係機関へ必要事項を通報する。

8 実施項目

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| (1) 通報訓練 | (9) 救護地区活動訓練 |
| (2) 現場指揮本部の設置及び運営訓練 | (10) 救助隊員輸送訓練 |
| (3) 合同対策本部の設置及び活動訓練 | (11) 担架搬送訓練 |
| (4) 消火活動訓練 | (12) 負傷者搬送訓練 |
| (5) 救助活動訓練 | (13) ヘリコプターによる負傷者搬送訓練 |
| (6) 避難誘導訓練 | (14) 検視・検案活動訓練 |
| (7) トリアージ地区及び救護地区設置訓練 | (15) 警戒警備及び交通規制訓練 |
| (8) トリアージ地区活動訓練 | |

9 訓練の流れ

時間	内 容	実施機関
(17:45)	(通報訓練)	(空港事務所、航空自衛隊小牧基地・小牧管制隊 等)
18:40	総合訓練開始宣言	空港事務所
18:41	航空機発災	空港事務所
18:43	初期消火活動	航空自衛隊小牧基地、三菱重工業(株)小牧南工場
18:45	消火活動	航空自衛隊小牧基地、三菱重工業(株)小牧南工場、各消防機関消火隊
18:55	消火活動終了	
18:55	救助活動	航空自衛隊小牧基地、各消防機関救助隊 等
18:55	トリアージ活動	各消防機関トリアージ隊
19:00	負傷者担架搬送・誘導	飛行場救難救助隊 等
19:00	医療救護活動	愛知県医師会、日本赤十字社愛知県支部、小牧市民病院、DMA T指定医療機関、地区医師会 等
19:18	負傷者救急車等搬送	各消防機関救急隊 等
19:25	遺体搬送	県警察本部、西枇杷島警察署
19:50	訓練終了宣言	空港事務所
19:53	(集合) 挨拶、講評	西春日井広域事務組合消防本部、愛知県医師会
20:00	解散	